

健康状態別看護【経過別看護Ⅰ（急性期・周手術期・生活再構築看護援助論）】

担当教員	金子 利恵 横井 亜希子 富木 一磨・柴田 亮子	所 属	専任教員 平鹿総合病院 〃
対象学年/開講時期	第1学年/後期	単位数(時間数)	1単位(20時間)
履修の目的	1) 急性期または手術療法を要する患者とその家族の看護の実際を学ぶ。 2) 生活機能障害を持ち生活を再構築する人とその家族への看護について学ぶ。		
授業形式	主として講義形式で行い、グループワークも行う。		
成績評価の基準	出席・テストを総合的に評価する。		

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所
①	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	医学書院
②	新体系看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論	メヂカルフレンド社
③	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学	医学書院
④	系統看護学講座 専門Ⅱ 老年看護病態・疾患論	医学書院
⑤	写真でわかる高齢者ケア	インターメディカ

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回 ～ 第3回	急性期看護の考え方、クリティカルケア 急性期にある患者の看護の特徴 手術中の看護	急性期の概念・看護の特徴 周手術期看護の概念 手術前・手術中・手術後の看護 術式による特徴的な看護 回復術、開胸術、内視鏡的手術 開頭術、日帰り手術を受ける患者の看護 手術中の看護	①②	金 子
第4回 ～ 第5回	重症集中治療を受ける患者の看護	ICU・HCU 看護	①	横 井
第6回	検査と看護	ME 機器と看護	②	富 木
第7回	手術を受ける高齢者への看護	・手術に臨む高齢者の課題 ・術前～術後、早期離床への看護	③④⑤	金 子

第8回 第9回	リハビリテーション看護の考え方	リハビリテーション看護の概念 リハビリテーションを必要とする人の身体的特徴、生活上の特徴、心理的特徴 障がいの受容課程、セルフケアの獲得 家族への影響、役割の変化 経過別リハビリテーションの考え方 急性期・回復期・維持期	①	金子
第10回	高齢者のリハビリテーション期の看護	身体機能維持・回復を促す看護援助 ・機能障害のある方のリハビリテーション ・セルフケアアセスメントとセルフケアへの支援 ・精神的看護 ・家族への看護	③④⑤	柴田
修了試験				

*この科目は、実務経験のある教員による科目です。